

第 6 回 河川レンジャー運営会議の開催報告

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

目 次

1 . 福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議	1
2 . 枚方出張所管内河川レンジャー運営会議	3
3 . 高槻・山崎出張所（大阪府域）管内河川レンジャー運営会議	5
4 . 伏見・桂川・山崎出張所（京都府域）管内河川レンジャー運営会議 ...	7
5 . 木津川出張所管内河川レンジャー運営会議	10

1. 福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議

(1) 開催概要

開催日時：平成 20 年 10 月 23 日（木）13:00～15:00

場 所：OMM ビル 13 階（財）河川環境管理財団 大阪研究所 会議室

参加人数：委員 15 名（新任河川レンジャー 2 名を含む）、事務局 5 名

分類	氏名	所属等	出欠
地元見識者	上田 一郎	大阪市民生委員児童委員 淀川区主任児童委員 幹事代表	
	小川 力也	淀川フォーラム実行委員会 委員 大阪府立西野田工業高校 教諭	×
	河合 典彦（座長）	淀川フォーラム実行委員会 委員 大阪市立大桐中学校 教諭	
	小竹 武（代表者）	淀川フォーラム実行委員会 委員長 淀川ネイチャークラブ 会長	
	福山 和夫	大阪市立都島工業高等学校 都市工学科長	×
河川レンジャー	菊井 睦夫	福島出張所管内河川レンジャー	
	辻川 松子	福島出張所管内河川レンジャー	
	野路 与蔵	毛馬出張所管内河川レンジャー	
	原田 修一	毛馬出張所管内河川レンジャー	
	三輪 栄子	毛馬出張所管内河川レンジャー（新任）	
	山本 善稔	毛馬出張所管内河川レンジャー（新任）	
	松岡 徹	淀川管内センター河川レンジャー	
沿川自治体	東郷 茂	大阪府 西大阪治水事務所 所長	
	樫本 泰孝	大阪市 建設局 河川管理事務所 所長	×
	田中 重見	大阪市 淀川区役所 企画調整担当課長	（代理）
	土橋 ひとみ	大阪市 都島区役所 人権生涯学習担当課長	
国土交通省	北方 泰憲	淀川河川事務所 福島出張所 所長	
	寒川 雄作	淀川河川事務所 毛馬出張所 所長	

五十音順（地元見識者）、敬称略

- 議 事：
- 河川レンジャーの募集から任命までの流れ
 - 河川レンジャーの任命
 - 新規河川レンジャーからの抱負
 - 平成 20 年度 河川レンジャー活動における課題と成果
 - 今後のスケジュールについて



河川レンジャーの任命
（任命書の授与）

(2) 開催結果

1) 決定事項

淀川管内河川レンジャー推薦委員会から推薦された三輪栄子氏と山本善稔氏が毛馬出張所管内河川レンジャーに任命された。

2) 新規河川レンジャーの活動と抱負に対する意見等

活動場所を、新淀川と大川に設定されているが、大川と新淀川では川の形状が全く異なる。高水敷のある新淀川のように、参加者が水に近づける活動を大川でもできるように工夫した活動をしてほしい。

都島区ではこの7年間、年1回のペースで子供による大川の清掃活動を行っている。今後は河川レンジャーと協力して清掃活動が地域に定着するようにバックアップしていきたい。

よどがわ河川敷フェスティバルでは、淀川フォーラム実行委員会が企画・運営を主導しているが、今後は他の行政区にも企画・運営の協力をお願いしたい。淀川区では、まちづくりや防災について、淀川区未来わがまちビジョン委員会や淀川区生涯学習推進委員会、商店街などに協力して頂いているが、今後は河川レンジャーと協力してやっていきたい。

河川レンジャーには、大川の自然再生の役割も担ってもらいたい。

新規河川レンジャーは、先輩の河川レンジャーや河川管理者に遠慮せずに接してもらいたい。活動規模の大小に係わらず、活動に協力していきたい。

3) 河川レンジャーの活動に対する意見等

レンジャー活動における一番の悩みは、活動の広報や参加者の募集である。これらをどのようにするべきか。

河川レンジャー自身が活動の輪を広げていくことは必要であるが、他の組織との連携を深めていくことも重要である。

参加者の募集はレンジャー活動の大きな課題であり、地域の学校への働きかけは参加者を募る意味で大切である。学校の教職員は忙しいが、教職員にレンジャー活動を理解してもらおう努力が必要である。その地道な努力が大きな輪となる可能性がある。

レンジャー活動の成果を上げるためには、努力を惜しまないことが必要である。レンジャーの活動の大切さを学校に訴えていくことで、結果がでるものと考え努力している。

大阪府では出前講座を行っているが、出前講座に対して前向きな教職員がおられる学校は積極的に受け入れてくれる。

2. 枚方出張所管内河川レンジャー運営会議

(1) 開催概要

開催日時：平成20年10月7日(火) 14:00～16:00

場 所：中央流域センター 2階 多目的ホール

参加人数：委員11名(新任河川レンジャー1名を含む)、事務局7名

分類	氏名	所属等	出欠
地元見識者	南條 範秀	寝屋川青年会議所 副理事長	×
	平尾 賢二	NPO 法人 枚方文化観光協会 枚方宿鍵屋館長	
	本多 政雄(代表者)	ねや川市自然を学ぶ会 副会長	
河川レンジャー	立川 亨一	枚方出張所管内河川レンジャー	
	上田 豪	枚方出張所管内河川レンジャー	
	荘司 弘之	枚方出張所管内河川レンジャー	
	瀬野 卓男	枚方出張所管内河川レンジャー	
	山口 進	枚方出張所管内河川レンジャー(新任)	
	松岡 徹	淀川管内センター河川レンジャー	
沿川自治体	上野 秀樹	大阪府 枚方土木事務所 企画総務課 企画グループ長	
	園田 一博	枚方市 環境保全部 環境総務課 課長	
	北川 雅昭	寝屋川市 まち建設部 下水道室 下水道整備課 室長兼課長	×
	山地 善澄	守口市 市民生活部 環境保全課 課長補佐	×
国土交通省	荒井 徳夫	淀川河川事務所 枚方出張所 所長	

五十音順(地元見識者)、敬称略

議 事： 河川レンジャーの募集から任命までの流れ
河川レンジャーの任命
新規河川レンジャーからの抱負
平成20年度 河川レンジャー活動における課題と成果
今後のスケジュールについて



河川レンジャーの任命
(任命書の授与)

(2) 開催結果

1) 決定事項

淀川管内河川レンジャー推薦委員会から推薦された山口進氏が枚方出張所管内河川レンジャーに任命された。

2) 河川レンジャーの活動に対する意見等

レンジャー活動でゴミ拾いをして、その後の処理に困る。

大阪府にはアドプトリバー制度があり、市民団体と行政が協働でゴミの処理を行っている。

荒ゴミは、枚方土木事務所に処理をお願いしているが、生ゴミについては、寝屋川市で処理が可能である。

淀川の河川敷ゴルフ場周辺には、豊かな自然が数多く残されている。河川敷ゴルフ場での活動を検討する必要がある。

レンジャー活動を通じて、淀川に係わる地域住民の声を聞いていきたい。

淀川高水敷にはゴルフ場などがあり、地域住民が河川に近づきにくい。枚方市には、穂谷川の上流域から中流域にかけて、山田池公園など自然豊かな公園がある。また、天の川などの支川も、十分に活動が可能な河川の特性がある。今後は、淀川本川と支川との連続した活動ができるように河川レンジャーと連携を図っていきたい。

枚方市にはひょうたん池という水が干上がった池があるが、水を戻して学校の児童・生徒が遊ぶ水辺を作ってもらいたいという要望がある。また、学校からひょうたん池を活動したいとの話もある。レンジャー活動でひょうたん池を利用することは可能か。天の川流域での浄化試験用に造った空池がある。水が溜まればレンジャー活動にも利用可能である。

河川レンジャー間での情報交換は、レンジャー活動での課題を提起しあって進めると良い。

悪天候による活動の中止を参加者に知らせるのは、河川レンジャーひとりでは困難である。

歴史や自然の変化が地域の特質を形成してきたことを地域住民に周知していく必要がある。また、淀川の地勢的特徴を考えた防災について、地域住民に啓発する活動も必要である。

歴史や淀川と地域住民との関わりを周知する活動が必要である。

3. 高槻・山崎出張所（大阪府域）管内河川レンジャー運営会議

(1) 開催概要

開催日時：平成 20 年 10 月 14 日（火）14:00～16:00

場 所：中央流域センター 2 階 多目的ホール

参加人数：委員 11 名（新任河川レンジャー 1 名を含む）、オブザーバー 1 名、事務局 7 名

分類	氏名	所属等	出欠
地元見識者	岡山 雅彦（代表者）	社団法人 高槻市観光協会 会長	
	小寺 英夫	高槻市商業団体連合会 会長	×
河川レンジャー	中島 敏明	高槻出張所管内河川レンジャー	
	吉川 正之	高槻出張所管内河川レンジャー	
	谷岡 寿和子	山崎出張所管内河川レンジャー	
	酒井 信行	高槻出張所管内河川レンジャー（新任）	
	松岡 徹	淀川管内センター河川レンジャー	
沿川自治体	水谷 経輔	大阪府 茨木土木事務所 総務企画課 企画グループ長	（代理）
	馬場 博司	高槻市 建設部 道路河川室 室長	（代理）
	山口 猛	摂津市 市長公室 参事兼政策推進課長	×
	谷川 清	島本町 都市環境部 産業建設課 課長	（代理）
国土交通省	桑山 富美雄	淀川河川事務所 高槻出張所 所長	
	高木 正数	淀川河川事務所 山崎出張所 所長	
オブザーバー	大矢 正彦	社団法人 高槻市観光協会 事務局長	

五十音順（地元見識者）、敬称略

議 事： 河川レンジャーの募集から任命までの流れ
 河川レンジャーの任命
 新規河川レンジャーからの抱負
 平成 20 年度 河川レンジャー活動における課題と成果
 今後のスケジュールについて



河川レンジャーの任命
（任命書の授与）

(2) 開催結果

1) 決定事項

淀川管内河川レンジャー推薦委員会から推薦された酒井信行氏が高槻出張所管内河川レンジャーに任命された。

2) オブザーバーの出席について

岡山代表より、体調不良により欠席された小寺委員の代理として、大矢正彦氏をオブザーバーとして出席して頂く事が提案され、出席委員全員の賛成を得られた。

3) 新規河川レンジャーの活動と抱負に対する意見等

酒井レンジャーを含めた 4 名の河川レンジャーによるレンジャー活動を年に 1~2 回実施したい。

酒井レンジャーには、地域住民を引っ張っていく存在になって頂きたい。

地域住民との協働による安全・安心な河川に向けた活動を頑張ってもらいたい。活動に関する情報等を提供して頂ければ、高槻市として活動に協力していきたい。

4) 河川レンジャーの活動に対する意見等

淀川本川と支川の境界で、河川レンジャーと地域住民が協働して活動を行いたい。

淀川右岸水防組合などは、本川と支川の区別なく活動されており、淀川河川事務所としても協力していきたい。

河川レンジャーには、地域住民と連携して防災に関する活動を行ってもらいたい。

防災のイベントだけでは、地域住民は参加しづらい。河川レンジャーの協力があれば、地域住民に防災に関する協働を呼びかけられるのではないかな。

a) 中島レンジャー

今後は防災や歴史に関する活動を行っていききたい。また、河川レンジャーが中心となった協働による河川管理について考えていききたい。

b) 吉川レンジャー

今年度は稲作体験や歴史文化についての活動を行ったが、今後もこの活動を継続していきたい。

治水についての学習会を、来年度までに是非、実施したい。

c) 谷岡レンジャー

活動において、人との繋がりを持つのが大変難しい。今後は河川レンジャーやスタッフとのコミュニケーションをより一層、図っていききたい。

4. 伏見・桂川・山崎出張所（京都府域）管内河川レンジャー運営会議

（1）開催概要

開催日時：平成20年10月28日（火）14:00～16:30

場 所：上流域流域センター 会議室

参加人数：委員21名、事務局5名

分類	氏名	所属等	出欠
地元見識者	池田 忠夫	納所自治会連合会 会長	
	宇野 和幸	京都嵯峨芸術大学 芸術学部 造形学科 教授	×
	大西 賢市	梅津自治会連合会 会長	
	三木 善則	御香宮 宮司	
	永山 邦明（代表者）	伏見観光協会 専務理事 （株）伏見夢工房 観光担当部長	
河川レンジャー	坂本 清	伏見出張所管内河川レンジャー	×
	中川 雄介	伏見出張所管内河川レンジャー	
	中村 桂子	桂川出張所管内河川レンジャー	×
	田子 稔	桂川出張所管内河川レンジャー	
	仁枝 洋	山崎出張所管内河川レンジャー	
	柳沼 宣裕	桂川出張所管内河川レンジャー	
	望月 斐加	伏見出張所管内河川レンジャー	×
	松岡 徹	淀川管内センター河川レンジャー	
沿川自治体	小林 暢彦	京都府 京都土木事務所 管理室 室長	（代理）
	亀山 久成	京都府 山城北土木事務所 管理室 室長	
	岡本 哲夫	京都府 乙訓土木事務所 技術次長	
	北川 洋一	京都市 伏見区役所 区民部 まちづくり推進課 課長	
	松葉 信子	京都市 右京区役所 区民部 総務課 課長	×
	矢野 和之	京都市 西京区役所 区民部 まちづくり推進課 課長	（代理）
	宮川 時彦	京都市 南区役所 区民部 まちづくり推進課 課長	×
	石井 俊光	宇治市 理事、建設総括室 室長	（代理）
	武田 昭夫（新委員）	長岡京市 総務部 参事 危機管理監	
	川本 武美	八幡市役所 都市整備部 道路河川課 課長	（代理）
	川野 安男	久御山町 事業建設部 道路河川課 課長	×
	今村 幸弘	大山崎町 総務部 政策推進室 室長	（代理）
国土交通省	片山 則哲	淀川河川事務所 伏見出張所 所長	
	杉谷 泰彦	淀川河川事務所 桂川出張所 所長	
	高木 正数	淀川河川事務所 山崎出張所 所長	

五十音順（地元見識者）、敬称略

議 事： 河川レンジャーの募集から任命までの流れ
平成 20 年度 河川レンジャー活動における
課題と成果
今後のスケジュールについて



(2) 開催結果

1) 河川レンジャーの活動に対する意見等

レンジャー活動が活発になれば、行政も付いてくる。河川レンジャーによる主体的な活動を期待する。

現在のレンジャー活動は、自然環境等に偏ったレンジャー活動となっているが、それが河川レンジャーの本来の目的ではない。様々な活動があって、地域との連携や協働が成熟していくものと考えている。

河川に関する情報の共有化は、レンジャー活動とは切り離せないものである。

子供を対象とした防災の学習会を実施してほしい。水防訓練や防災訓練を子供が興味を示すように楽しくやってほしい。そのための協力は惜しまない。

ゴミを捨てる人に対して、抑止する人が必要である。その役割を河川レンジャーに担ってもらいたい。また、ゴミを捨てた人が責任を持つ社会となるよう、河川の美化啓発をしていく必要である。

地域住民が河川を大切にする意識を持つようなレンジャー活動を期待したい。

子供が河川に親しむための活動をしてほしい。

河川レンジャーの活動の幅が広いことに感心した。河川行政は、これまで守り中心であったが、今後は攻め中心に変わらなければならない。河川レンジャーに協力していきたい。

河川レンジャーには、不法耕作などに対する啓発に協力をお願いしたい。また、共に考えていくための問題提起もお願いしたい。

防災をテーマとした活動は、行政として取り組みやすい課題である。

a) 中川レンジャー

レンジャー活動を開始してから 6 年目になり、地域にレンジャー活動が徐々に浸透している。これまで活動に参加していなかった小学校からも要請があり、驚いている。これは地域の参加意識が上がっているためではないかと考えている。

活発に活動を行っているが、活動を行うことのみ主眼がおかれていないか。地域との連携に目を向けても良いのではないか。

b) 望月レンジャー

レンジャー活動を、地域とのコミュニケーションづくりのためのインセンティブにして頂きたい。

c)中村レンジャー

小学校を対象としたかつらがわ自然観察会を、5月から9月にかけて7回行っており、地域とのコミュニケーションづくりを積極的に行っておられることに感服する。ツバメのねぐら調査では、ツバメが巣作りをした家庭にシールを貼らせてもらっている。子供達はそのシールの貼ってある家に訪問させてもらい、地域の人たちとのコミュニケーションや連携を深める手段となっている。

将来的には、河川事業が環境と調和しスムーズに進むような活動を行いたい。

d)田子レンジャー

“桂川の自然を守りたい・桂川をきれいにしたい”をモットーとして活動を行っている。桂川をもっと知りたいという気持ちから、活動するたびに新たな感動がある。活動に参加する子供が少ないのが残念である。親から“川は危ないところだから近づかないように”と言われているのが問題である。

レンジャー活動を通じて、川の美化意識を高めていきたい。

e)柳沼レンジャー

平常時の河川の状態を見て回ることは非常に大切なことである。この活動で得られた情報は、緊急時においてバックデータとしての活用が可能となると思われます。活動を通じて、地域住民の河川に対する意識の低さを実感した。

小学校や自治会から防災に関する活動への要望があり、今後、対応していきたい。

f)仁枝レンジャー

今後は河川管理施設の紹介や防災についての情報発信を行っていきたい。

地域の自治会に働きかけ、連携を図る事を第一の目的に活動を行っている。

レンジャー活動における課題としては、参加者の募集がある。人づくりが大切と感じており、淀納所桂川愛護会や乙訓桂川愛護会などの自治会を中心に働きかけを行っていきたい。

g)坂本レンジャー

レンジャー活動は、楽しくやっていくことが大切である。活動が楽しければ、多くの人に参加し、活動が長続きする。

5. 木津川出張所管内河川レンジャー運営会議

(1) 開催概要

開催日時：平成 20 年 10 月 31 日（金）14:00～16:00

場 所：京田辺市商工会館 CIK ビル 3 階 301 号室

参加人数：委員 13 名（新任河川レンジャー 2 名を含む）、事務局 5 名

分類	氏名	所属等	出欠
地元見識者	谷口 美智子	NPO 法人「京・流れ橋食彩の会」 理事長	
	光田 重幸（代表者）	同志社大学 工学部 環境システム学科 准教授	
河川レンジャー	山村 武正	木津川出張所管内河川レンジャー	
	福井 波恵	木津川出張所管内河川レンジャー（新任）	
	田中 秀行	木津川出張所管内河川レンジャー（新任）	
	松岡 徹	淀川管内センター河川レンジャー	
沿川自治体	亀山 久成	京都府 山城北土木事務所 管理室 室長	
	岡田 陸夫	城陽市 都市管理部 土木課 課長補佐兼河川係長	×
	川本 武美	八幡市役所 都市整備部 道路河川課 課長	（代理）
	奥谷 勝	木津川市 建設部管理課 管理課長	
	大崎 文平	京田辺市 建設部 総括室 担当課長	
	藤原 義典	精華町 監理課 監理課長	
	川野 安男	久御山町 事業建設部 道路河川課 課長	×
	中村 秀一	井手町 事業部 建設課 課長	（代理）
国土交通省	山田 雄一	淀川河川事務所 木津川出張所 所長	

五十音順（地元見識者）、敬称略

議 事： 河川レンジャーの募集から任命までの流れ
 河川レンジャーの任命
 新規河川レンジャーからの抱負
 平成 20 年度 河川レンジャー活動における課題と成果
 今後のスケジュールについて



河川レンジャーの任命
（任命書の授与）

(2) 開催結果

1) 決定事項

淀川管内河川レンジャー推薦委員会から推薦された福井波恵氏と田中秀行氏が木津川出張所管内河川レンジャーに任命された。

2) 新規河川レンジャーの活動と抱負に対する意見等

環境問題は重要である。京田辺市では河川敷運動公園の拡張計画があるが、環境を考慮した計画にシフトしたいので、河川レンジャーに協力をお願いしたい。福井レンジャーが希望されている展示施設については、現在の社会状況からいわゆる“箱物”は好ましくないのがコストのかからない方向で考えて頂きたい。

地域の語り部など歴史を掘り起こす活動をしてもらいたい。

環境と行政の関わりを掘り起こしていく活動は面白い。川の生態系の変遷に関する活動も是非、お願いしたい。

山村レンジャーの活動と重複する部分は、レンジャー同士で調整してほしい。また、共同の活動も視野に入れておいてほしい。

3) 山村レンジャーの活動に対する意見等

7月に実施した地域で考えよう防災の参加者が少なく、年度当初からの広報活動が重要と感じた。

上流域流域センターの活用を考えていきたい。

レンジャー活動の後援を自治体に依頼したが、区域内の活動ではないという理由で断られた。

子供を川へ呼び込むようなプリントを学校に持ち込んでもらいたくないと小学校の校長からクレームがあったが、レンジャー活動では、子供に野外活動の楽しさと川の恐さを教えていきたい。

運営会議の委員には、教育委員会等への積極的な働きかけをお願いしたい。

児童・生徒を対象とした活動は、校長が活動を実施するかどうかを判断されているように思われる。従って、教育委員会への働きかけが必要である。

学校へのチラシの配布は効果大きいですが、教育委員会がレンジャー活動に対して、積極的ではないように感じられる。何か大義名分が必要ではないのか。

4月に実施される校長会へ働きかける事が必要である。

河川レンジャーの活動報告書を運営会議の委員が自治体に持ち帰り、自治体の職員にも見てもらい河川レンジャーに対する認識を新たにしてもらう必要がある。

4月に実施した親子花見の会は、自治会に大変好評で来年度も是非、参加させてほしいとのうれしい要望があった。今後はこれらの活動を地域住民との連携を深める場として進めていきたい。

以 上

